

平成24年度
第2回公民館運営審議会議事録

平成24年7月13日開催

平成24年7月30日承認

浦安市高洲公民館

○ 出席委員

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 塙 勉 |
| 副委員長 | 高橋 ヒロ子 |
| 委員 | 高渡 聰子 |
| 委員 | 加藤 和代 |
| 委員 | 西村 佳巳 |
| 委員 | 池田 正彦 |
| 委員 | 竹本 正和子 |
| 委員 | 中井 寿子 |

○ 説明出席者等

| | |
|---------|--------|
| 生涯学習部長 | 石川 豪三 |
| 生涯学習部次長 | 加藤 茂 |
| 高洲公民館長 | 吉田 敏輝 |
| 中央公民館長 | 中島 貴義 |
| 堀江公民館長 | 藤平 達三 |
| 富岡公民館長 | 指田 裕司 |
| 美浜公民館長 | 宇田川 妙子 |
| 当代島公民館長 | 石井 一義 |
| 日の出公民館長 | 高梨 晶子 |
| 生涯学習課長 | 大塚 繁 |

| | |
|-----|-------|
| 事務局 | 鈴木 徳雄 |
| | 小泉 清乃 |

平成24年度 第2回 公民館運営審議会会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成24年7月13日（金）午後3時～5時
- 2 開催場所 高洲公民館2階 第3・4会議室
- 3 出席者
（委員）
埴委員長、高橋副委員長、渡邊委員、加藤委員、西村委員、池田委員、
竹本委員、中井委員
（事務局）
生涯学習部長、生涯学習部次長、高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、
富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、
生涯学習課長、高洲公民館主査、高洲公民館副主査
- 4 議 題
 - I 開会
 1. 委員長挨拶
 2. 教育委員会挨拶
 - II 協議
 1. 報告事項
 - (1) 公民館主催事業（4月～6月）参加状況報告
 - (2) 当代島公民館文化祭開催結果報告
 - (3) 公民館主催事業（7月～9月）開催計画
 - III その他
 - (1) 定期利用団体について
 - (2) 6月15日県民の日「うらやすまるごと子ども広場」の開催結果報告
 - (3) 次回会議の予定
- 5 議事概要及び会議経過
 - I 開会
 1. 委員長挨拶
 2. 教育委員会挨拶
 - II 協議
 1. 報告事項
 - (1) 公民館主催事業（4月～6月）参加状況報告
各館の状況について、各公民館長より報告を行った。
(意見) 60歳以上の退職した年代から80歳までの年齢層は教育水準が高い方が

多い。レベルの高い事業がないように思われる。興味を持つ事業がない。どのような講座と言われると難しいが時事や経済問題等（ギリシャ金融問題等）の内容でレベルの高い講座を企画して欲しい。

(回答) 高齢者対象のコミュニティカレッジ浦安や美浜公民館、日の出公民館でも高齢者向けの講座を行っており、レベルが高い講座は日の出公民館でグローバルアカデミーを毎年開催している。

(意見) 一つの公民館で行うのではなく、いくつかの公民館でそういう講座を開いていただければ、参加者が増えるのではないか。

(回答) 昨年の事例ですが、グローバルアカデミーで身近な中国を取り上げたところ、男性成人対象ではありませんが、成人向け講座として定員を超える申し込みがありました。男性成人の方も受講されていました。今年度も秋か冬にかけて企画していきたい。

(意見) 各公民館で行った実績で、沢山の候補があると思いますが人気のある講座はより一層充実を図り、一つの公民館で二つか三つの目玉の講座を企画してほしい。選ぶ側としては参加できない時もあるので、二つは入れてほしい。

(回答) ご指摘の通り、前に市民会議を200人以上で行った時に同じような内容があり、公民館の講座は一流企業を退職された方がどうも講座に入りづらい、プログラムの中に自分がやりたい物が中々見つからない。200人で行った市民会議で出てきた方からもっと講座に入れるくらい勉強したいと声があり、市民大学が提案され、市民大学ができた。このような背景があり、私たちはそのようなニーズを私たちが受け切れなかった。そのようなニーズがあるということは、各公民館でも工夫しながら我々としてもやっていきたい。

(意見) いい講座は、質の高い講師を呼ばなければいけないと思う。費用的にもかなりかかるとは思いますが、予算のことは別としてできるだけそういう内容を取り入れてほしい。

(回答) 検討していきたい。

(意見) 日の出公民館だけではなく、複数のところで曜日をかえて行っていただくなど、工夫していただければ、広がるのではないか。

(意見) どの公民館でも6月15日のイベントを例年になく、メリハリをつけて実施していただいた。年々工夫して行っていくことにより、小学生、中学生が公民館に興味をもつきっかけになる。成果はでている。

(2) 当代島公民館文化祭開催結果報告

当代島公民館文化祭開催結果について、当代島館長が説明を行った。

(3) 公民館主催事業（7月～9月）開催計画

7月から9月の公民館主催事業開催計画について、各公民館長が説明を行った。

(意見) ルネサンスの誤字がある。堀江公民館の目指せ厨房男子の時間が「午後

10時から正午」となっていたり、中央公民館の仏像芸術入門の「都市の以外のスポット」の以外の漢字が違っていたり、前回説明いただいた際に私たちもチェックしていれば、反映されなかったのではないかと反省しています。市民の皆さんがご覧になるものなので、今後気を付けたほうがよいのではなでしょうか。

(質問) このルネサンスの訂正はホームページか何かで訂正を行うのでしょうか。

(回答) ルネサンスの訂正はできないが、訂正した内容がホームページに掲載されている。

2. その他

(1) 定期利用団体について

定期利用団体について、高洲館長と日の出館長が説明を行った。

(質問) 会員数の要件は無いということですが、実際に利用されている定期団体で一番少ない会員数は何人くらいですか。実際に活動されている人数は何人くらいですか。

(回答) 定期団体に限らず、公民館を利用する時にあたっての登録する要件は3人以上です。3人以上の半分以上が市内在住在勤なので、手元にデータはないが、10人を切っている団体もある。

(質問) 団体登録総数が4,170となっていますが、定期登録と一般団体が含まれているということですね。稼働率の中に定期利用団体がどのくらい占めているのかわからないと、ほとんどが定期利用団体で占められていて、一般利用団体が利用できない状況なのかわからない。データがあると明確になるのではないかと。課題となっているということは、一般団体からかなりのクレームがきているのでしょうか。

(回答) 体育館や運動室に関しては、数値はないが平日の午前中、一般の団体から思ったところが取れないとの声をいただいている。

(質問) 団体登録総数が4,170とありますが、こんなにあるのでしょうか。私が聞いているサークル数は浦安には約300サークルがあると伺いました。単位が違うのではないのでしょうか。非常に大きく感じます。

(回答) 団体登録数4,170はサークル団体だけではない。例えば、一般団体として登録する場合、幼稚園や保育園の父母会として登録したり、自治会、管理組合で定期的には利用はしませんが、総会として利用する団体も含まれた総数です。

(質問) 登録状況の一覧表の昭和62年から平成14年、23年を見ても微減しています。減っている理由は何ですか。

(回答) 高齢者が増えて維持できないため、サークルを止めている。

(意見) 本来は平成14年度の公民館予約システムの導入時にゼロにすべきだったんですね。人が入らず機械的に平等性を確保することがねらいだったんですね。市川でも同様なことがありました。平等性を維持するた

めに4回のところを2回にしたりしていた。体育施設は別で利用する団体同士が話し合いを行い、またそこで抽選を行う。文化会館の大ホールや中ホールもそのような傾向があります。何を優先させて何を平等にしていくのかというラインをどの辺で引くのかが今後問題となってくるのではないかと。稼働率の高いところがすごく問題となっていて、低いところは全然問題になっていない。調整していただければおさまってしまう。もう少し細かく見て、稼働率の高い使用率を見ていくことにより何か話ができるのではないかと。後は、こういう状況で皆の利用規模が高いという現実の資料をだしていただき、システムを導入して10年経つのでこちら辺で見直す資料を突き付けて、考えていただく理解していただくということがよいのではないかと。

(回答) 目的は、公民館サークルの活動支援と施設利用の促進でしたがこれではもう説明がつかなくなってきました。当初はこういう目的で始めたのですが、定期的に活動しているサークルばかりではありませんが、何らかの形で活動している。利用もかなり率が高いので、いまさらこれを持ち出して中々説明がつかない。我々が一番苦労している。実際には、全体としては収まっていて飽和状態を超えているという状態には至っていない。利用者から「この日使いたい」と言われた時に、塗り粒されている理由（定期団体が使用すること）をご説明するのが苦しい状況です。

(意見) 私も館長時代にそういうことを言われたことがありました。館の講座で抑えたところも、利用者から言われたことがありました。平等性の原則と優先順位を決め際のルールを見直しが必要ではないかと。100%真白にすることはできない。公的に抑えなければならないことがあるので、こういうふうに使っていますというルール化、明文化する必要があるのではないかと。公平にするためには理解しやすいのではないかと。

(意見) 大集会室、体育館は苦しい状況はわかる。50%を切っているところは、調整で済むのではないかと。説明の問題です。ここを取りたいと言われ、説明する時に納得できるものがないといけない。トラブルを避けるために説明ができるルールや手順があり、公平に行っているという説明ができればよいのではないかと。調整ができるところは調整で済むのではないかと。

(回答) 定期利用団体になりたいという団体は現在もおおり、ここ5年間は新規団体を止めている。

(意見) 無期限というのが一つの大きな課題になると思います。何年がいいのか、1年毎だと継続的な活動ができないので、2年か3年にしてチェックを行う。既得権として持っている意識があるので期限を決めて見直しをしていくことがよいのではないかと。

(意見) 調べていただきたいのですが、千葉市がサンセット方式をとって、千葉市の公民館は3年から5年で団体登録をさせて、次の1年は団体登

録をさせない。空白をおいてから、再登録し3年から5年活動をするという方法で行っているのか調べ、何かヒントになるのではないのでしょうか。

(回答) 千葉市でやられた制度の他に、主催事業からサークルになった団体は最初の1年の運営は足腰が強くなるまではこちらで支援している事例は聞いたことがある。

(2) 6月15日県民の日「うらやすまるごと子ども広場」の開催結果報告について、生涯学習課長が説明を行った。

(質問) 各施設を巡回するバスの運行ということでバスを運行した効果と成果をお聞かせください。館長をしていた時代に公民館の文化祭にバスを巡回できないか、巡回することで公民館全体の文化祭が実施できるのではないかと提案したのですが通りませんでした。交通機関を確保した効果をお聞かせください。

(回答) バスはマイクロバスを利用しました。乗車数は手元にありませんのでお答えできませんが、元町のお子さんが日の出に行くために利用していました。学校がお休みでしたので、子どもたちは自転車で回ったり、保護者の方の車で移動されていました。マイクロバスが全くの利用がなかったのではありませんが、満員になる状況ではありませんでした。総合駐車場から出発する際には、7～8名の乗車がありました。逆方向がなかったため、最短で帰ってこれない点が課題でした。

(3) 中央公民館体育館の利用について

中央公民館体育館空調工事完了に伴う体育館使用について、中央館長が説明を行った。

(4) 次回定例会議の予定

事務局より次回の第3回公民館運営審議会は、9月14日(金)午後3時から、高洲公民館で開催することを確認した。

以上で平成24年度 第2回浦安市公民館運営審議会が閉会した。